

【中国】資源リサイクル産業の現状—2025年の目標達成に向けて

2025年3月11日、第14期全国人民代表大会第3回会議で2025年の「政府活動報告」が採択されたが¹、この中の「三、2025年の政府活動任務」で次のように述べられている。

「グリーン低炭素経済の発展を加速させる。グリーン低炭素の発展を支援する政策と標準体系を整備し、グリーン低炭素産業の健全な発展生態を構築する。グリーン低炭素先進技術モデルプロジェクトを深く実施し、グリーン建築、グリーンエネルギー、グリーン交通などの新たな成長点を育成する。資源総量管理と全面的な節約制度を充実させ、重点的なエネルギー使用用水単位の省エネ節水管理を強化し、高エネルギー消費プロジェクトを強力かつ効果的に管理・制御する。廃棄物の循環利用を強化し、再生材料の使用を大いに普及させ、循環経済の発展を促進する。グリーン消費インセンティブメカニズムを健全化し、グリーン低炭素の生産方式と生活様式の形成を推進する。」

なお「循環経済（サーキュラーエコノミー）とは、資源を効率的に循環させ、持続可能な社会をつくるとともに経済的な成長もめざす『経済システム』を意味」する²、と資源エネルギー庁のHPでは定義している。

上記下線部分の一文が入った背景として、2021年7月に国家発展改革委員会から発表された「第14次五カ年計画（十四五）循環型経済発展計画」で掲げられたさまざまな目標の達成を2025年としている点が挙げられる。2025年は、まさに循環経済の進展の結果が求められる年であると言える。

「『十四五』循環型経済発展計画」では、「主な目標」として次の一文がある。

「循環型生産方式を全面的に実施し、グリーン設計とクリーン生産を全面的に推進し、資源の総合利用能力を大幅に高め、資源循環型産業システムを基本的に確立する。廃棄物のリサイクルネットワークを改善し、再生可能な資源のリサイクル能力をさらに向上させ、社会全体をカバーする資源循環システムを基本的に確立する。資源利用効率を

¹ 新华网《两会授权发布 政府工作报告》，2025-03-12

<http://www.news.cn/politics/20250312/a71e63d66967404e8e644f9753c65fc9/c.html>

² 資源エネルギー庁「成長志向の資源循環経済システム「サーキュラーエコノミー」（前編）どんな課題を解決するの？」（2024-11-11）参照。

https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/circular_economy_01.html

大幅に向上させ、再生資源の一次資源に対する代替比率を一層向上させ、循環経済による資源の安全性を支え保障する役割をより鮮明にする。」

さらに具体的な再生資源に関する 2025 年までの数値目標について、表 1 のように掲げている。

表 1 再生資源に関する 2025 年までの数値目標

品目	目標
1. 農作物のわら	総合利用率 86%以上を維持する。
2. 大口固体廃棄物 ³	総合利用率 60%を達成させる。
3. 建築ごみ	総合利用率 60%を達成させる。
4. 古紙	利用量 6,000 万トン達成させる。
5. 廃棄鋼	利用量 3.2 億トン達成させる。
6. 再生非鉄金属	生産量 2,000 万トン達成させる。そのうち再生銅、再生アルミニウム、再生鉛の生産量はそれぞれ 400 万トン、1,150 万トン、290 万トンを目指し、
資源循環利用産業	生産額 5 億元を目指す。

出典：「第 14 次五カ年計画（十四五）循環型経済発展計画」

果たして 2025 年までにこれらの目標は達成されるのであろうか。ここでは各項目について、現時点で最新の数値を明らかにしたい。

まず農作物のわらの総合利用率は、農業農村部の発表によると、2024 年は 88%超で、わらの肥料化、飼料化、エネルギー化、基材化、原料化利用率はそれぞれ 57.6%、20.7%、8.3%、0.7%と 0.8%であった⁴。

大口固体廃棄物の総合利用率は、国務院新聞弁公室の発表によると 55%超で、前年より 1.2 ポイント増加となった⁵。

³ 「大口個体廃棄物」とは、単一種類の年間発生量が 1 億トン以上の固体廃棄物を指す。このような廃棄物は通常、工業生産、建築活動、農業生産などの分野に由来する。主なものとしては、石炭脈石、石炭灰、尾鉱、工業副産物石膏、製錬スラグ、建設廃棄物、農作物のわら等が挙げられる。（参考：中华人民共和国中央人民政府《国家发展改革委有关负责人就《关于“十四五”大宗固体废弃物综合利用的指导意见》答记者问》，2021-03-25 https://www.gov.cn/zhengce/2021-03/25/content_5595642.htm）

⁴ 农业农村部《2024 年全国秸秆综合利用现场推进会顺利召开》，2024-06-14 http://www.kjs.moa.gov.cn/hbny/202406/t20240614_6457216.htm

⁵ 中华人民共和国中央人民政府《国务院新闻办“中国经济高质量发展成效”系列发布会：介绍“大力推进新型

建築ごみの総合利用率については、2024年の数値は発表されたおらず、2020年の50%⁶という数字が最も新しい情報となる。

古紙については、中国物資再生協会が2024年7月に発表した「中国再生资源回收産業発展報告2024」によると、2023年の古紙の利用量について、6,737万トンの回収量があり、古紙の利用率が52.4%であったことから、利用量は3,530万トンであったことがわかる⁷。

2023年の廃棄鋼の利用量は、中国循環経済協会のデータによると、2.6億トンであるという⁸。

一方、再生非鉄金属については2024年、1,915万トン（前年同期比7.1%増）が生産された。このうちアルミニウムが1,000万トン越えとなった⁹。

また、中国電子情報産業発展研究院傘下のCCIDコンサルティングによると、2023年の資源循環利用産業の規模は4兆0774億元、前年同期比13.1%増であったという¹⁰。「5兆元」の目標を実現させるには、2025年年まで2桁成長を維持しなければならない。

これらを総合すると、農作物のわら、大口固体廃棄物、再生非鉄金属については、このままの増加ペースを維持すれば、目標が達成される見込みである一方、古紙、廃棄鋼については更なるペースアップが要求される。

2026年の政府活動報告で、これらの目標がどこまで達成されたのか注視していきたい。

（石川 晶）

工业化 推动经济高质量发展”有关情况》

https://www.gov.cn/lianbo/fabu/202501/content_7000482.htm

⁶ 国家发展和改革委员会《2025年中国资源循环利用产业目标产值达5万亿元》，2021-07-14

https://www.ndrc.gov.cn/xwdt/ztl/sswxhjzgh/202107/t20210714_1290437.html

⁷ 中国物资再生协会《中国再生资源回收行业发展报告（2024）》，2024-07-10

⁸ 新华网《高质量发展·蹲点日记“城市矿山”迸发绿色潜能》，2024-12-10

<http://www.news.cn/fortune/20241210/7f9ede0d9213435da1f392c81bdb4e55/c.html>

⁹ 上海有色金属网《2024年中国再生有色金属产业七大进展》，2025-01-23

<https://news.smm.cn/news/103152952>

¹⁰ 中国节能协会碳中和专业委员会《注册资本100亿元再生资源利用“国家队”上场 循环经济5万亿市场待挖掘》

https://mp.weixin.qq.com/s?__biz=Mzg4MjY2NDgxMg==&mid=2247545292&idx=7&sn=53ef0599145c750efbc9f7e3a6d3bf95&chksm=cee606bf18649148627e6f2a43e6e67964ef3afc1435665f71b9d6a756876a44aaceefbd958d&scene=27

【中国】【EV】工業情報化部の蘇波・元部長、自動車産業のEV化加速を予測

2025年3月28日、中国電気自動車百人会フォーラム（2025）が北京で開催された。同フォーラムで中国工業情報化部の蘇波・元部長が登壇し中国の自動車市場の現状について講演を行った。

蘇氏は、「中国のEVを中心とする新エネルギー自動車産業は10年間の急速な発展期を経て、先進技術の全面的な産業チェーンと強力な国際競争力を備えた新たな産業となった。現在、世界的な自動車の電動化の流れをリードしつつあり、中国の自動車産業の高品質な発展の推進力となっている」と指摘した。

また同氏は、「中国国内の自動車市場は国産の独立系自動車ブランドのシェアが長年40%前後で推移していたが、近年の新エネルギー車の急速な発展により2024年は69.8%に達した。同時に伝統的な燃料自動車の販売台数と収益性が大幅に低下し、従来の燃料自動車会社は生き残りへのプレッシャーが増大している。自動車産業の再構築が差し迫っているとし、自動車メーカーは電動化変革の加速を強力に推進し、ガソリン車との並行開発の継続による資源の大幅な浪費を削減すべきである」との見解を述べた。

出所：新华网 <http://www.news.cn/auto/20250329/d57782151f47472bb2bda779581a7f8d/c.html>

【中国】【新エネ】新エネルギー貯蔵製造業の高品質発展に向けた行動計画を公表

中国工業情報化部など8部門は共同で2025年1月26日付け、「新エネルギー貯蔵製造業の高品質発展に向けた行動計画の通知」を公表した。多様な新エネルギー貯蔵技術の開発を促進し、エネルギー貯蔵製品の技術面の安全性ならびにエネルギー変換効率など経済的実現可能性を向上させ中国の同分野における総合的な競争力を大幅に向上させる。

2027年までに3～5社の国際的に影響力を有する有力企業を育成し、中国の新エネルギー貯蔵産業のサプライチェーンの国際競争の優位性を確立する。具体的にはスーパーキャパシタ、鉛蓄電池、ナトリウム電池、フロー電池等のエンジニアリング及び応用技術研究を推進する。

同行動計画は①産業システムの改善、②製品の性能向上、③応用分野の拡大の3部分から構成される。リチウム電池など成熟した分野についてはさらなる技術のアップグレードを加速しハイエンド製品の供給能力を強化することが盛り込まれている。電力、産業、エネルギ

一、輸送、建設、通信、農業などの複数の分野での応用ニーズを満たし、エネルギー革命の促進とカーボンピークアウト・カーボンニュートラルの達成をめざす。

出所：中华人民共和国工业和信息化部网站

https://www.miit.gov.cn/zwgk/zcwj/wjfb/tz/art/2025/art_1cb418523baa4d2781c7907aebdab3a6.html

【中国】【環境】複数の証券会社が炭素排出権の取引参加へ

2025年2月24日の中国能源新聞の報道によると、このほど、広発証券、国信証券、招商証券、興業証券、国元証券、財達証券、長城証券、西南証券の8社が、中国証券監督管理委員会（CSRC）の（申請に対する）回答文書を受け、中国国内証券取引所において自社業務として炭素排出権取引に参加する許可を取得した。これにより、証券会社の参入は市場の流動性向上や価格発見機能の強化、双方向見積もりの提供を通じた取引コストの削減など、企業にもメリットをもたらすと評価されている。専門家は、金融機関が市場に参加することで、金融派生商品の開発や市場供給の多様化も促進され、炭素排出権を取引する資格を持つ企業（以下、対象企業と称す。）に対しては資金調達ツールやリスク管理策を提供し、グリーン転換への資金誘導が実現されると指摘している。

実際、2023年初頭に中金、華泰、申万宏源、東方証券など6社が同様の認可を受けたこともあり、証券会社の参入は炭素排出権市場で着実な成果を上げている。2024年の中国炭素排出権取引市場の取引額は181.14億元に達し、前年比約80%増、年末の取引価格は22.75%上昇して流動性が大幅に改善された。さらに、証券会社は現物・先物取引や炭素排出権のリパーチェス業務を展開、対象企業や他の市場参加者に多様な炭素金融サービスを提供している。例えば、2024年5月、華泰証券と湖北三峡新型建材社が炭素排出権のリパーチェス取引を完了し、既存の炭素資産活用と資金調達の拡充、コスト低減に寄与した。

現在、計15社の証券会社が炭素排出権取引への参加を認可され、市場活性化が進む一方、全国統一炭素排出権市場では依然として対象企業のみが取引が許されており、金融機関の参入は主管部門の承認が必要である。参入する証券会社の増加に伴い、監督体制の強化や規制ルールの早期整備が求められており、専門家は、金融機関向けの長期的な政策指針と共に、各証券会社が炭素金融の研究・サービス向上に努め、炭素資産の保管、炭素融資、炭素リスク管理など多角的なサービス展開で顧客のグリーン投資ニーズに応えるべきだと提言している。

参考：http://paper.people.com.cn/zgnyb/pc/content/202502/24/content_30059713.html